# 事務事業評価表(内部管理事務等)

評価対象年度平成28年度1次評価日(主幹等)29 年 3 月 31 日2次評価日(課長等)29 年 3 月 31 日

1 事業名	社会教育振興事業	コード 103101			
2 担当部課	<mark>部等</mark> 教育部	課等 生涯学習課		作成者小口喜照	
	#3	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
株 取 策 生涯学習の推進 施 策 社会教育の充実   3 事業概要 予算科目 社会教育振興事業費 業務委託 なし(直営)		<u><u> </u></u>	施策	社会教育の充実	
		なし(直営)			
	実施義務なし(選択的事	事業)	国県補助	なし	
	根拠法令 社会教育法第5	5条第2項、社会教育	· 注法第4章		

#### ●事業の実施内容 (D0)

4	事業の概要等	* 対象者(誰のため)、意図(どのような状態にしたいのか)	
	事業の概要	社会教育に関する意見の収集及び青少年の健全育成等の社会教育に関する事項を協議、ま た郷土学習館・美術展への補助及び負担を行い社会教育の振興を図る。	
	目対象者	全市民	
	的 意 図	社会教育の振興	

## 5 事業の実施内容

\*28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

〇社会教育委員の会議

教育委員会への提案書提出「岡谷美術考古館~文化生活の学びと向上に寄与する拠点を目指して」 (1)全体会議4回 (2)教育委員との懇談会1回

〇郷土学習館活動支援

郷土の優れた先人の行き方を学ぶ場を市民に提供し、次代を担う青少年の健全育成に資するため、NPO法人郷土学習館運営委員会に対し、運営費の一部を補助した。

○社会教育指導員の配置による公民館活動の推進

H27に課題としていた美術会負担金はH28には美術考古館担当に移管となったが、会側との 交渉によって負担を軽減することができた。

前年度の課題 への対応

	区 分	26年度	27年度	28年度	<b>29年度</b> (予算)
1	直接事業費	2, 413, 000	2, 351, 450	2, 551, 629	2, 811, 000
	経常経費	2, 413, 000	2, 351, 450	2, 551, 629	2, 811, 000
	臨時的経費	0	0	0	0
	* 臨時的経費の説明				
2	人件費	4, 000, 000	4, 000, 000	4, 000, 000	4, 000, 000
	正規職員の人数(人)	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50
3	合計コスト (1+2)	6, 413, 000	6, 351, 450	6, 551, 629	6, 811, 000
	前年度比		99. 0%	103. 2%	104. 0%
	財源 一般財源	6, 413, 000	6, 351, 450	6, 551, 629	6, 811, 000
	内訳 特定財源	0	0	0	0
	* 特定財源の説明				
4	コストに関する補足説明				

1)	<b>台</b>	補助金	交付金の状況
~ I /	= 7 = W .	THI DVI TO .	- メーローサンノクスノル

件数

金額

件数 金額 件数 金額 件数 金額 件数 金額

合計金額

割合

負担金補助金

生涯学習館活動事業

補助金

	[単位:件、円、%]	
28年度	<b>29年度</b> (予算)	
1	1	
1, 500, 000	1, 500, 000	

1, 500, 000

53.36%

●改善	善の	内容	(AC	TION)
	ロソノ	r 3 Tor	(AU	I I OII

ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合

# 7 具体的な課題と改善 (事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 社会教育委員が半数入れ替わったことで戸惑いも多い。 課 題 (上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 新しい委員には県や諏訪地域で行う総会、講演会等へ積極的に参加してもらい、地域との関わり方や 委員の役割を知ってもらう。 改善方法 平成29年度~ 改善開始時期

27年度

1, 800, 000

1,800,000

76.55%

1, 500, 000

58.79%

26年度

1, 800, 000

1, 800, 000

74.60%

### ●次年度の計画 (PLAN)

	<u> </u>		
8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	В